



第3回

市民協働を支える中間支援

中間支援とは、市民協働に関わるさまざまな主体の間に立って、それぞれの活動を支援することをいいます。市民活動団体などへの相談業務や情報提供などの支援、人材や資金などの市民活動に必要な資源の仲介、政策提言などを行います。

本市では、市民協働促進計画の基本方針の一つに「市民協働を促進する市民活動団体の育成・強化」を掲げ、中間支援機能の充実に力を入れ

市民協働で取り組まれている事業にスポットを当て、さまざまな主体が「ツナガル」(連携する) 実例を紹介します。

ています。

中間支援の役割を担う団体が、行政と市民活動団体の橋渡しや市民活動団体相互の横つなぎなどによって市民活動を更に活発にすることで、市民協働の効果的な展開が期待されます。

中間支援の事例

地縁団体、NPO、事業者、行政などさまざまな主体によって設立された「(公財)ささえあいのまち創造基金」では、市民からの寄付金を、公開プレゼンテーションなどを通じて市民活動団体に配分し、地域課題の解決に向けた公益的活動に対する

中間支援を行っています。

市では、今後もこうした中間支援団体による、それぞれの市民活動団体に対する人材育成やコーディネーター機能について、充実強化が図られるよう取り組みを進めていきます。



公開プレゼンテーション

問い合わせ先
市民協働安全課
(☎354-8179 FAX354-8316)



第5回

こんにちは。市民文化部です。

今回は市役所5階にある文化振興課をご紹介します。

昨年12月に、富田地区の「鳥出神社の鯨船行事」がユネスコの無形文化遺産に登録され、今年の大四日市まつりでは、4艘が勢揃いし、勇壮な練りが披露されました。

また、昨年11月には三浜文化会館が開館し、市民の皆さんの芸術や文化活動の練習・発表の場が新たに増えました。

市役所の各部署の業務などを政策推進監が紹介するコーナーです。今回は、市民文化部の文化振興課をご案内します。

文化振興課では、伝統文化への支援をはじめ、市民が主体的に行う文化活動の支援や芸術鑑賞の機会を提供するなど、文化都市四日市を目指した取り組みを進めています。

10月15日(日)には、「第6回全国ファミリー音楽コンクールinよっかいち」が開催されます。このコンクールは、各出場者の優れた音楽はもとより、それぞれの家族の絆も感じられる、本市の魅力の一つとして、全国に広がりつつあります。

さらに10月21日(土)・22日(日)には、市民の実行委員会による「第6回四日市JAZZ FESTIVAL」

が開催され、四日市の街なか音楽であふれます。皆さんもぜひ各会場にお出掛けください。



市民文化部政策推進監 矢田 弘美

問い合わせ先
文化振興課
(☎354-8239 FAX354-4873)

有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です

随時加入者募集中

建労 四日市支部

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

三建国保

組合独自の建設労働者の健康保険

出産育児一時金(42万円)
葬祭費(本人10万円・家族7万円)
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助(3万3千円)
脳ドックに対する補助(2万円)など

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。